

地域別構想



地域別構想は、五つの地域構想と、それぞれをさらに中学校区程度に区分した地区構想の二段階構成になっています。地域構想では、それぞれの地域に「めざすべき地域の姿」を掲げ、地域資源をいかした具体的な方針を決めています。

全体構想で掲げた都市全体のまちづくりから、地域の特性を活かしたまちづくり、さらに、身近な生活環境を整えるまちづくりへと、幅広くまちづくりをとらえ、市民参加のまちづくりにつなげるのがねらいです。

中央地域

めざすべき姿

県都としての新たな顔を創出し
高感度の都市文化、
情報交流が盛んなまち



秋田駅から続くぼぼろーどと大屋根

中央地域は、県都としてのにぎわいが期待される地域。駅東地区と一体となって、多様な都市機能を集積することが目標です。

日赤病院跡地などの市街地再開発事業の促進や、産業会館跡地などの有効活用といった中心市街地の活性化をはかります。昨年完成したぼぼろーどや大屋根に加え、仲小路をフルモーター化することで、秋田駅から連続する歩行者空間をつくります。秋田中央道路などで駅東西間を連携し、スムーズな車の流れをつくります。秋田市のシンボルである千秋公園を総合的に整備します。景観に配慮しながら、中心市街地との結びつきを強化し、市民や観光客に魅力ある都市空間をつくります。大町の繁華街や通町の個性的な商店街と、中央街区との一体性を高め、人々が相互に行きかつ商業地を形成します。都市型住宅の整備を誘導し、中心市街地の居住人口の回復をはかり、にぎわいのある都心環境をつくります。

東部地域

めざすべき姿

みどりにつまれ
市の交通の要衝となる
活き活きと躍動するまち



新しく生まれ変わる東口広場
(完成予想図)

駅東口のまちづくりも始まりました。秋田中央インターと連結する秋田駅東中央線や秋田中央道路などの整備をすすめます。

幅広い世代の市民が集い、まちのにぎわいを生みだす交流型の施設として、(仮称)拠点センターの整備を推進します。センターには、全天候型広場を中心に、公共公益施設などを設け、駅周辺がもっと便利で楽しくなるように配慮します。秋田中央インターチェンジと都心部を直結する秋田中央道路をつくり、駅東西間のつながりや、他都市との連携を強化します。秋田駅東中央線や横山金足線沿道に多様な都市機能を集積するとともに、魅力あふれる景観形成をはかります。市街地に隣接する大規模公園や東部丘陵地の豊かな自然、眺望のみどりの整備、保全をはかります。